

主催 一般社団法人日本鉄鋼連盟

第3回 サステナブルスチールセミナー

鉄鋼業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み

日時：2024年9月10日（火）13:30～16:45 オンライン開催（ライブ配信+アーカイブ配信）

13:30～13:35	開会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 吉田 仁
13:35～14:25	-基調講演- 鉄鋼業のGXに向けた現状と課題 経済産業省 製造産業局 金属課 総括補佐 高木 駿平 鉄鋼業をはじめとする産業の脱炭素化は、重要な政策テーマの一つである。ここでは、最近の政府内でのGXに関する議論の動向や鉄鋼業のGX実現に向けた課題についても紹介する。
14:25～15:05	-講演- 日本鉄鋼業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 副委員長 平川 智久 日本鉄鋼連盟は、我が国の2050年カーボンニュートラルという大きな方針の下、その実現に向けて着実に取り組みを進めている。また、その取り組みの過程においても低炭素鋼材を市場へ供給すべくマスバランス方式を適用したグリーンスチールに関するガイドラインを整備し、会員各社は既にグリーンスチールの供給を開始している。本講演ではこれらの取り組みの内容と現在の状況を紹介するとともに、鉄のリサイクル効果を反映した鉄鋼製品のLCI手法の考え方も解説する。
15:05～15:20	休憩
15:20～16:00	-講演- リサイクル効果を反映したLCI手法論 ～様々な素材への適用可能性～ 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授 醍醐 市朗 リサイクル効果を反映した鉄鋼製品のLCI手法論は、既に規格化されている。しかしながら、同手法論を他の素材へ適用する際には、それぞれの素材のリサイクルの状況を反映した手法にする必要がある。本講演では、多様な素材へ適用可能な一般的なリサイクル効果を反映したLCI手法論の開発の現状を、様々な素材への適用例を交えて解説する。
16:00～16:40	-講演- 盛土災害の防止に役立つ鉄鋼スラグの活用法 建設工学研究所 代表理事（神戸大学 名誉教授） 澁谷 啓 2021年7月に熱海市伊豆山で発生した大惨事を二度と繰り返さないために、盛土等による災害から国民の生命・身体を守るため、盛土等を行う土地の用途やその目的にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）が、令和5年5月から施行された。本講演では、盛土が壊れる原因とシナリオを明らかにした上で、鉄鋼スラグを土に混合することで降雨と地震に強い盛土になることを事例研究を交えて紹介する。
16:40～16:45	閉会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 吉田 仁

（都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります）

（敬称略）

問合せ先 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ
TEL：03-3669-4815 E-mail：sss@jisf.or.jp